

○障がい福祉施設の整備を支援	25億8,400万2千円
○農業共同利用施設の機能を強化し、農業者の負担を軽減	21億7,918万8千円
○高性能機械・施設整備等により、生産性を向上	21億3,481万6千円
○材料費高騰に伴う給食費の保護者負担を緊急支援	12億9,932万2千円
○福祉施設における介護ロボット等の導入を支援	11億3,612万円
○県立学校におけるGIGAスクール学習環境を充実	8億1,477万2千円
○電子処方箋の導入を支援	6億690万2千円
○大学発のディープテック※スタートアップの創出を促進	5億円
○経営革新による賃上げを支援	3億9,35万2千円
○生産性向上による中小企業の賃上げを支援	3億6,028万6千円
○水素グリーン成長戦略の推進	3億2,200万円
○ITツール導入による賃上げを支援	2億8,809万3千円
○輸出の拡大に向け、HACCP対応食品製造施設の整備を支援	2億6,000万円
○ランピースキン病の発生農場と周辺農場を県独自で緊急支援	5,605万3千円
その他、「価格交渉による賃上げを支援」、「福岡バイオエコシステムの形成を推進」、「福岡バイオエコシステムの形成を推」、「県産酒のGI認定に向け酒米生産を支援」、「介護サービス事業者による外国人材の確保を支援」、「AIを活用し、中学生の英語力向上を推進」、「災害拠点病院等の施設整備を緊急支援」、「新興感染症に対応する医療機関を支援」、「妊婦健診のため遠距離通院する妊婦の交通費を支援」、「災害時のトイレ環境を改善」、「万国指定文化財の防災対策を緊急支援」など。	

【会派代表質問の概要】（1面から続く）

今『2月県議会』の民主県政クラブ県議団の代表質問は、以下のとおりです（概要）。

1. 下水道管路の維持管理について

- ①本県の流域下水道において、耐用年数50年を超えるものがどのくらいあるのか。
- ②下水道管路の維持管理における今後の対応について。
- ③県内下水管の状況を確認するため点検ドローンなどの機器導入及び県内自治体が行う下水管点検に対する財政支援の考えについて。

2. PFAS汚染への対策強化について

我が会派は2024年2月代表質問で、県議会で初めて「PFAS汚染問題」を取り上げ、知事にその対策を求めた。その後の進捗も含めて質問した。

- ①県内3つの消防本部で保有されていた泡消火薬剤の在庫・廃棄状況は。
- ②本県内で保有する「PFOS等含有泡消火薬剤」の在庫と処分計画は。
- ③県内の幾つかの地点の専用水道からPFASが検出されたことに対して、県はどのような対応を行ったのか。併せて、今後の対応方針についてどうするのか。



3. 「戦後80年」の本県の取り組みについて

- ①知事はどのような平和への思いをお持ちなのか、そしてその思いをどう県民に伝えるのか。
- ②戦争と平和に関する伝承者をどう育てるかなど、戦争体験の継承について。
- ③知事、教育長の平和教育の必要性に関する見解は。

4. 孤独・孤立対策について

- ①ホームレスを支援するNPO法人の活動基盤を強化について。
- ②孤独・孤立支援に役立つ人材育成と支援について。



5. 救急医療体制について

- ①本県における近年の救急搬送者数とそのうち軽症者と見られる方の割合は。
- ②福岡県でLive119のようなシステムを提供している自治体及び消防組合は。また利用状況は。

6. 医薬品不足への対応について

- ①本県の医薬品不足の現状とその対策は。
- ②県内にジェネリック医薬品製造所は何か所あるのか、それに対し、県はどのように監視体制の強化を行っていくのか、不適正な製造をチェックできる体制ができるのか。
- ③県では医薬品の適正使用をどのように進めてきたのか。
- ④抗インフルエンザ薬の備蓄量はどの程度あるのか。併せて、廃棄量をできるだけ少なくする仕組みをつくってはどうか。その他。